

旅上^{りよじょう}

萩原朔太郎^{はぎわらさくたろう}

ふらんすへ行きたしと思へども

ふらんすはあまりに遠し

せめては新しき背広をきて

きままなる旅にいでてみん¹。

汽車が山道をゆくとき

みづいろの窓によりかかりて

われひとりうれしきことをおもはむ²

五月の朝のしのめ³

うら若草のもえいづる心まかせに。

¹ いでてみん 出てみよう。

² おもはむ 思い描こう。

³ しのめ 明け方。